

登録コード	HB394200	開講年度	2026					
授業題目	臨床免疫・感染症学特論					担当教員	中沢 洋三 他	
英文授業名	clinical immunology and infectious diseases					副担当	齋藤 章治・平林 耕一	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HB4年制初							
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	専門分野の先端的な論文等を理解し説明できる。それを多角的に分析して自分の研究に活用することができる。研究内容や進捗を講義内で発表することができる。	
(2)詳細/Detailed information	小児の生体防御・免疫システムを理解し、小児期にみられる免疫疾患や感染症について学ぶ。最終的に、免疫、炎症、微生物等を標的とする新しい治療法を考案することを目標とする。							
(3)授業の概要/Overview of course	特に小児における、生体防御・自然免疫、細胞性・液性免疫、感染症、免疫不全症候群、自己炎症性疾患、炎症性腸疾患、アレルギー性疾患について理解する。							
(4)授業計画/Course plan	第1回 生体防御・自然免疫（中沢洋三） 第2回 細胞性・液性免疫（齋藤章治） 第3回 細菌感染症I（齋藤章治） 第4回 細菌感染症II（齋藤章治） 第5回 真菌感染症I（中沢洋三） 第6回 真菌感染症II（中沢洋三） 第7回 ウイルス感染症I（齋藤章治） 第8回 ウイルス感染症II（齋藤章治） 第9回 免疫不全症候群I（中沢洋三） 第10回 免疫不全症候群II（中沢洋三） 第11回 自己炎症性疾患（齋藤章治） 第12回 自己免疫性疾患（齋藤章治） 第13回 炎症性腸疾患I（平林耕一） 第14回 炎症性腸疾患II（平林耕一） 第15回 アレルギー性疾患（平林耕一）							
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	論文等の討議20%、研究内容の討議40%、スライド等による発表40%で評価する。							
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	学外から高い評価を得られるレベルにあれば「秀：100-90点」、教員を感心させるレベルにあれば「優：89-80点」、十分なレベルにあれば「良：79-70点」、達成目標を満たせば「可：69-60点」、不十分であれば「不可：59点以下」とする。							
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	該当範囲を、講義の前に事前学習しておくこと。							
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メールでの質問は、随時受け付ける。面接の時間が必要な場合は、メール等で時間予約をすること。＜小児医学教室：child@shinshu-u.ac.jp＞							
(9)授業の形式/Course format	オムニバス方式							
【教科書/Textbook(s)】	指定しない							
【参考書/Reference work(s)】	指定しない							